



令和元年度「新しい東北」交流拡大モデル事業(地域型) 選定結果 令和元年度「新しい東北」交流拡大モデル事業(岩手県沿岸地域)

- 日本への外国人観光客は増加の一途をたどっていますが、東北の観光産業は全国的なインバウンド急増の流れから未だ遅れをとっており、観光復興は道半ばとなっています。
- 国内の他地域同様、人口減少・少子高齢化が進展する中、復興・創生期間後を見据え、引き続き岩手県沿岸地域の観光復興に向けた取組を進める必要があると考えます。
- 岩手復興局は、本事業を通じて、岩手県沿岸地域における外国人の交流人口拡大を図る取組を支援します。
- 具体的には、国内外の外国人が岩手県沿岸地域に訪れるプログラムを造成し、実際にプログラムを販売することで市場の評価を通じた実証を行い、持続的な岩手県沿岸地域への外国人の交流人口拡大を図ることを目指します。

今回、令和元年5月15日から令和元年6月12日までの期間で、本事業に係る提案の公募を行いました。

応募提案について、企画審査委員会において厳正な審査を行った結果、以下の提案を選定いたしましたので、お知らせいたします。

(詳細については別紙参照)

1. 「東北UTSUKUSHIの旅」をフックとした沿岸地域への交流拡大モデル構築事業
2. 内発的発展による岩手県沿岸地域のインバウンド交流人口拡大事業

問合せ先:

復興庁岩手復興局 観光・調整班 小林

電話番号 019-654-6609

令和元年度「新しい東北」交流拡大モデル事業(岩手県沿岸地域) 選定案件

1. 提案名:「東北^{うつくし}の旅」をフックとした沿岸地域への交流拡大モデル構築事業

事業者:株式会社岩手日報広告社

概要:「世界遺産・平泉」や「狹鼻溪」などの主要観光地を擁する岩手県内陸地域から、沿岸地域へのインバウンドの動線を作るために、JR大船渡線や沿線の観光プログラム等をフックに、インバウンド拡大と持続可能な事業体制を構築する。

2. 提案名:内発的発展による岩手県沿岸地域のインバウンド交流人口拡大事業

事業者:有限責任監査法人トーマツ

概要:インバウンド交流拡大のための「ノウハウの蓄積」・「学びの場の創出」を目的として、特に宮古市エリアや大船渡市・陸前高田市エリアにおいて、地域事業者がインバウンドの専門家の協力を得ながら、ツアー商品造成～情報発信～販売の一連の流れを実際に実施する機会を創出し、今後の地域の持続的な活動体制を構築する。

以上